

研究職員(テニユア型任期付)公募一覧表(令和6年4月)

テニユア 応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	林業経営・政策研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	野生鳥獣管理に関する人文社会科学的調査研究	野生鳥獣の適切な管理には、生態学的手法に加え、人文社会科学的的手法が重要である。そのため、地域社会経済構造、土地制度、ガバナンスに関する人文社会科学的調査、分析を行い、日本における野生鳥獣管理に関わる地域社会のニーズ解明や森林所有者の権利調整の提案等を通して課題解決を図る。	①採用時に修士の学位以上を有する者 ②日本における野生鳥獣管理に関する地域社会経済構造、土地制度、ガバナンス等の人文社会科学研究実績を有する者 ③勤務地:森林総合研究所(茨城県つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可能な者
2	森林総合研究所	林木育種センター	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	林木のゲノム育種技術の開発	林木育種に対する多様なニーズに迅速に対応するため、大規模なゲノム情報及び遺伝子発現情報からゲノム育種に活用するための有益な情報を効果的に抽出してDNAマーカーを開発するとともに生物情報学的手法や遺伝統計学的手法を活用して、実用的な林木のゲノム育種技術を開発する。	①採用時に修士の学位以上を有する者 ②分子生物学的研究または遺伝統計学的研究の実績を有し、林木の品種改良に熱意をもって取り組む意欲を持つ者 ③最初の勤務地:林木育種センター(茨城県日立市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可能な者
3	森林総合研究所	林木育種センター	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	林木遺伝資源の長期保存と増殖技術の開発	林木遺伝資源として多様な樹木の栄養器官または散布体を長期保存し、必要に応じてこれらから個体再生や苗木増殖を行うため、茎頂や種子等について凍結・乾燥耐性の発現メカニズムの解明と組織培養法を確立して、林木遺伝資源に適した長期保存及び個体再生技術を開発する。	①採用時に修士の学位以上を有する者 ②植物生理と組織培養に関する研究実績を有し、林木遺伝資源の長期保存と増殖特性に関する研究に意欲を持つ者 ③最初の勤務地:林木育種センター(茨城県日立市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可能な者